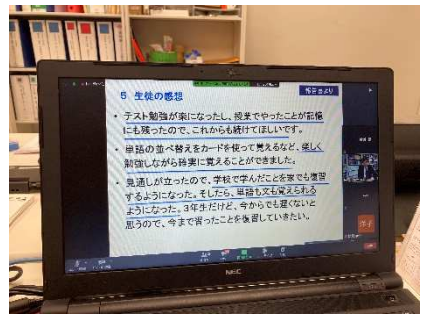


「中学校英語科研修会（スーパーティーチャー招聘事業）」報告書

日 時	2020年12月21日(月) 14:00~16:00
研 修 名	スーパーティーチャー招聘事業「中学校英語科研修会」
研修の目的	国頭地区の英語科教員の指導力の向上及び効果的な授業づくりについて講話や演習を通して新学習指導要領の理解を深めると共に、年間指導計画作成のポイントを掴む。
テ ー マ	新学習指導要領に伴った授業づくりとテスト作成について
講師名	中島 洋一先生（関西外国語大学 教授）
会場・場所	各学校（Zoomによるオンライン研修）
研修内容	<p>1.大学のオンライン授業から・・・これからの時代はオンラインとオフラインの両方の授業が大切になる。</p> <p>2.Study（プロセス）と Learn（到達した姿）の違い・・・冰山モデルを例に ①最初のルール作りが大事 ②大事なものはゴールのイメージ ③プロ教師は起承転結の「結」の活動と「転」の揺さぶりの部分を大事にする。 ④積み木型の授業からジグソーパズル型の授業への転換 積み木型教師・・・授業進行案 ジグソーパズル型教師・・・学習指導案</p> <p>3.現行学習指導要領より今の指導をチェック ①英語の教科部会で Can-Do List を作成 ②文科省より中3のゴールが示され、それを読み解き、定期テストでそれに近づけた県・市が成果を上げた。 ③教科書で日常的にチャンクを意識させる。 ④新出単語をフラッシュカードだけでなく文脈でも説明する。</p> <p>4.学習指導要領は羅針盤・・・教科書だけでなく学習指導要領の活用 ※教科書だけでは、「知識・技能」しか見えてこない。学習指導要領には「思考力・判断力・表現力」を高めるための「ねらい・方策」が書かれている。それを理解すると「つきたい力」を意識した授業になる。</p>
成果／活用策	<p>○「書くことをしっかりと鍛えて話させる」ということがとても印象的でした。生徒の日記などを一人一人点検し、全員に正しく書かせるための努力はとても大変なものだと感じましたが、できることからチャレンジしていきたいと思います。</p> <p>○指導要領をもとに教科書の題材を通して活動を工夫したい。また、身に付けたい力（～できる）を明らかにして、最終ゴールをイメージさせながら学習させる。</p> <p>○授業の構築の仕方について→プロ教師側（ジグソーパズル型）であること。</p> <p>○「定期テストはゴール。ゴールが正しい山ならば正しい力はある」という言葉が印象的でした。全国学力調査の内容を再確認してテスト作りをしたい。</p> <p>○自分が普段どんな授業をしているのか客観的に知る事ができ、「これで良かったんだ」と確信できた部分と、「これは改善しなければ」と反省する部分が明確になって良かった。また、それを自身で発見する方法（学習指導要領を読み込み、教科年計や単元計画に日々の授業に反映させること）も分かったので、これを私自身の冬休みの課題とし、3学期・次年度へ生かしていきたい。</p> <p>○京都の中学1年生の生徒のやり取り、高知県の中学校3年生の生徒のやり取り、レベルの高さを感じました。日頃からあのような活動に取り組ませていく。同じようなことを実践しているので、今後は質を高めていけるよう工夫したい。</p> <p>○本時のねらいと身についたかを確認できる活動を先に考えること。（バックワードデザイン）指導と活動のバランス。</p> <p>○やはり、一番意識したい、させたいと思ったのは「GOAL」を設定（授業でも、自分の生活でも）することだと学んだ。働き方改革が叫ばれているが、まだまだ自分の仕事や生活をコントロールできていない。その改善に努めながらしっかりと時間を作り、自己のレベルアップも同時にしていかなければ未来を担う子どもの教育はできないと改めて思う。</p> <p>○中学校英語のテストが教科書の暗記で解くことではない、パターンブラクティスや repeat after me で身に付く力はない。子ども達の learn を目指す学習活動、指導の工夫改善をしたいです。</p> <p>○研修方法に関して、私自身初めてのオンライン研修と言うことで多少の不安はありました。しかし、講師の先生の工夫された動画やスライド、現役大学生の授業方法などオン</p>



	<p>ライン上でも効果的に学べるのが解った。現在、中学校で特別な支援を必要とする生徒に対して英語の授業を行っています。それらの生徒が楽しく学べるような英語の授業を目標に、studyを積み重ねlearnし、表現できるような授業を目指したい。</p> <p>○今回の研修を受講して、これまでの自分の授業計画は無計画でその場しのぎであることを痛感しました。生徒が楽しめるような内容やアクティビティを思いつき実践することはあるが、その力を継続的に身につけ、どのように活かすかと言うことを単元や年間計画を通して取り入れることは全く出来ていなかったと思う。今回学んだ、単元計画を最終目標から逆算して書いていくこと、ライティングでは、教師側の添削から清書させること、英単語は文脈を交え覚えさせることを実践していきたい。</p>
感想／要望	<p>○オンラインでもこのような充実した研修ができることが分かったので、今後もよろしくをお願いします。</p> <p>○演習がなくなった分、講話が伸び結果的に良かったと思いました。現場の先生方に対する強いメッセージが多くあったように思います。</p> <p>○今回の研修を受けて、改めて単元マネジメント、そしてそれを創る教師側の発想の工夫が大切であることが理解できました。教師が生徒の実態を把握し「何を？どう？」取り組ませていくかが大切なのではないでしょうか。新学習指導要領施行にあたり、今一度それらを整理し、考えることが必要だと感じました。</p> <p>○対面で行えたほうが一番良いとは思いますが、Zoomでの研修だったので移動を気にすることなく離島にとってはとても有難い実施でした。</p> <p>○「正しい山」に登らせていますか。自身、真摯に受け止めて改善していきたいと思えます。</p> <p>○特に指導要領を読み込むということ。強く印象に残りました。子ども達に教えるべきことは教科書では全てではない、それよりも指導要領に元づいているということ、改めて大切なことだと感じる事ができた。</p> <p>○新学習指導要領をよく読んで授業づくりをする大切さを学びました。</p> <p>○Can-Do リストの作成や年間計画の作成は個人ではなく、地区単位（最低でも市町村単位）で取り組めないかと思う。それが地区全体の底上げに繋がっていくと思う。各学校での設定は人事異動の際、また小規模校と大規模校で差が出てしまう。(今朝、年間計画の案が名護市指導主事より送付されました。感謝です。)</p> <p>○今回できなかった「年間計画作成のポイント」の部分もリモート研修で行ってほしい。</p> <p>○地区の英語担当の先生方で集まって学習したい。本日の学びを継続させたい！</p> <p>○中嶋先生のパワーポイント資料を頂けたら振り返って学ぶ時にとっても役立つので頂けたら有難いです。(今後もZoomを用いた研修があると助かると感じました。)</p> <p>○中嶋洋一先生のご講話を次年度もお願いしたいです。</p> <p>○初めてのオンライン研修で不安がありましたが、多くのことを学ぶことが出来ました。オンラインだから出来ることがあり、自分のペースでリラックスして受講できました。とても有意義な時間をありがとうございました。</p> <p>○GIGAスクールが導入され、新学習指導要領、評価についての研修がたくさん出来れば嬉しいです。</p>



<アンケートの結果>

目標参加者数	30人	参加者	28人	参加率 93.3%	参加率=目標参加数÷参加数
アンケート回収数	9件	回収率	32.1%	回収率=回収数÷参加者数 (%)	

アンケート項目	評価4		評価3	
研修の時間について	適当であった	9人(100%)	まあまあ適切であった	0人(0%)
興味を引く研修内容か	非常に良かった	9人(100%)	良かった	0人(0%)
今後の教育活動に活かそうですか	非常に活かそう	8人(88.9%)	まあまあ活かそう	1人(11.1%)

※評価2. 評価1は0であった。